

心友会だより

第 4 0 6 号

昭和44年6月1日創刊
平成20年10月8日発行
発行所及責任者
川崎市多摩区東生田4-13-17
電話番号 044-976-0708
郵便番号 214-0031
宗教学者 出雲心友会 藤武彦
編集兼発行人 佐藤武彦
毎月8日1回発行
1部150円 (送料共)
年間購読料1,800円

神迎祭

今年の「神迎祭」は十一月七日(旧暦十月十日)の夜七時より国譲りの聖地、



荘厳な出雲の参道より

われます。

旧暦十月に諸国の神々が出雲に集まるといふのは、かなり古くから文献に見られていて、すでに平安末の藤原清輔の『奥儀抄』には「十月天下の諸々の神出雲の国に行き」とあります。

この神在月の頃、出雲地方は特に風波がはげしく、大社地元ではお忌荒れといひ、この時海蛇が波に乗って稲佐の浜に浮かび寄って来るのを「竜蛇さま」といつて八百万の神が大社に参集されるについて、神の使として寄り来られるのだと信じられております。そして龍神の先導にて、海原遙か御到着になられた全国の神々は旧暦十月十一日から十七日までの七日間出雲大社に集まられ、神事(幽業)すなわち人には予めそれとは知ることのできない人生諸般の事どもを神議りにかけてきめられるのだと古代

より伝えられております。又男女の縁結びもこのときの神議りによるものであるといわれております。

大社ではこの期間、神在祭が執り行われ、また大社から西方八百メートルにある上宮が神々の会議処で、大社境内地の東と西にある十九社に(お旅社)、鎮まられております。

この祭事の期間、神々の会議や宿泊に粗相があつてはならないといふので、土地の人々は歌舞を設けず、楽器を張らず、第宅を営まざ(家を建築しないこと)ひたすら静粛を保つことを旨とするので「御忌祭」ともいわれております。

そして十七日には簸川郡神立の万九千社より神々はそれぞれの国にお還りになられるのだそうです。

この神迎祭には全国から大勢の信者が参拝いたします。私達心友会でも毎年熱心な信者の方々が参列され大勢の人々と共に、稲佐の浜から大社までの御神幸の供奉をおつとめしてまいります。普段人通りもまばらな浜よりの町筋もこの時ばかりは御幣を手にした供奉の人波で埋めつくされます。ところで、神迎祭の日ですが、先程も申し上げた通り、旧暦の十月十日と決まっている為、毎年変わるのです。

また、十月を『神無月』と呼ぶのは、日本全国の神々が出雲へ行かれ、その土地を留守にする為です。逆に出雲地方は、神々がお集まりになられるので、『神在(有)月』と呼んでいます。

この『神在』という言葉は、中世に古文書焼失の事情もあり古くは遡上できませんが、正平八年(一二三五年)の千家国造家文書に『こくそう(国造)殿へけんけう(檢校)仕候御やく條々之事』に「毎年十月神在に三貫文之事」とあり、しかも末文では、「せんそ(先祖)代々仕きたる」神事とされて、この十月神在が遡上する古伝のものであることが想像出来ます。

余談となりますが、本殿の献饌(お供え)は、十一日と十七日の小祭には五台で、十五日の中祭には九台

ですが、十七日の小祭にはそれとは別に玄米飯二台をお供えします。

これは、玄米を炊ぎ、円筒の型に入れて出すものでそれぞれ一升炊きです。

尚、上宮へは五合炊きを三台、十九社へは東西それぞれに洗米と神饌を供えます。

神迎祭は、厳肅な御祭である事がおわかり頂けたと思いますが、この厳肅な神迎祭の原始の姿を八十二代出雲国造の千家尊統公は、自身の著書『出雲大社』の中で、「陰曆(旧曆)の十一月の中の卯の日におこなわれる新嘗祭にそなえる物忌みであつた」と解釈しております。

そして、大事なまつりをおこなう為に、広い地域において長期にわたる物忌みに服する例として、兵庫県加古川郡の日岡神社、千葉県館山市の安房神社などをあげていきます。

特に今年都合で参列出来ない方は、来年こそ神迎祭に参列して、出雲の壮大なスケールを体感して頂きたいと思ひます。

生かされていく

「神とは何でしょうか」という疑問が生まれて、初めて人は素直な心で宗教について話し合えるのではないのでしょうか。

神道・仏教・キリスト教その他八百万神が存在しています。神とは大宇宙に唯一の全知全能であるところの目に見えぬ、形のないものであり、無限なるものだと思います。

そして、決して私達人間と別個のものでなく親と子の関係の如く、一つに繋が

るものであります。何故ならば、私達人間の魂は、心は、形のないものであり肉体のどこに存在しているかもわからないものでありながら、各人が持つているものであります。それは、神の分霊を授けられている神の子だからであります。解かり易く申し上げますと、私達人間の魂は心の親であるものが神であります。

世に独立自尊、自分の理性のみを信じ、自己の判断と努力する行動のみが人生

であり、とて、魂を否定し神を否定して生きておられる方がありますが、人間の理性の限界は予定通りに人生が運ばないで、思い掛けない災難に遭ったり、肉体が伴わなかったり自己の判断が後に誤りであったりして、それぞれに人智の限界を何度か経験なさっている筈です。

だからと言ってその理性を決して否定するものではありません。心とは、人間の肉体と精神と分けられないものと同じ様に、切り離せないものです。

ドイツの哲学者カントは「有限なる人間が、より高き無限なるものをもとめることが信仰だ」(超経験的なもの『物自体』は科学的認識の対象ではなく信仰の対象である)という様なことを言っています。真の信仰とはこの様に、哲学的にも道徳的にも、論理でも割り切れるものではないと思います。

大変難しい話になってしまいました。私もあれ私達は魂の親である神を敬い、感謝し、懺悔しつつ、

「今日も生かされていることを感謝申し上げます」毎朝のお詣りで一番最初に唱えるべき言葉だと思います。その一番大切な筈の『生かされていること』の難さ」を忘れがちなのは、私達が人間であるが故の過ち(罪)のはじめなのでしようか！権力のある人、名声の高い人、どんな人も、その命だけは自分でどうすることもできません。親子兄弟と言えどもいくら自分がかかわってやりたいと思っても叶わないことです。

人の死を目の前にする度に思います。『生き方』の問題です。生殺与奪の権は、神のみがお持ちになるのであって、死は一生を通しての「徳」と「罪」との総決算の時であろうと思います。「今日も生かされています」ことを感謝申し上げます。「お役に立てる人間として

「お役に立てる人間として

お使い下さいませ」という生きる為の言葉でありたいと思うのです。生かされていることに感謝した次には、神様はもちろん、家族をはじめ縁ある人の為に奉仕の生活をさせていただけ様、心からお詣りをさせていたただきたいものだと思います。与えられている私共の命を、明日、明後日に向けて躍動させる所に、永遠の命が残ってゆくと思

お知らせ

出雲心友教会も、IP 電話に加入致しました。電話番号は、050-3386-2284 です。尚、IP 電話同志は、通話料が、一切かからないそうです。(無料です) IP 電話に加入されている方は、電話番号をお知らせ下さい。(登録して下さい) ※今までの 044-976-0708 でも通話出来ます。



心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン
心友会だよりを年間千八百円(一部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。
(郵送先をお知らせ下さい。)

●会長先生のご著書でございます
会長先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」、「神霊の奇跡」、「神のこころ・霊のめぐみ」、全て、未広会にて販売しております。
在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。
ご不明な点等、ございましたら
〇四四(九七六)〇七〇八
佐藤まで

大自然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅

太陽で24時間床暖房 ハイブリッド ソーラーハウス

奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間(全館床暖房)エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員

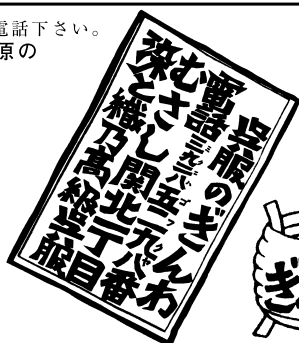
My Hands 有限会社白幡工務店

〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp
代表取締役 金子文雄

和服・お手入れ、きものことなら何でもお電話下さい。
都内・横浜・熱海・大宮・幕張・湯河原の
展示会にご案内いたします

呉服のぎんお

練馬区関町北1-15-11
TEL 03-3928-5298
八雲支部 渡邊



発想をアクティブに。
伝える情報を伝える情報に。
マルチカルチュラル時代の
コミュニケーションサービスを
展開しています。

株式会社 プレシーズ

〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20
Tel : 03-3444-7111 (代) Fax : 03-3442-5775
E-mail : mails@preseez.co.jp
Homepage : http://www.preseez.com

社務所からのお願い

やっと秋らしくなってきました。いりました。

皆様方から毎年頂いておられます年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円) 年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料 年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料 年間五千円

口座番号は、左記の通り

○二九〇一七―三三八二

※お手数ですが、通信欄に年会費・管理料の区別を明記して下さい。

大祭の奉賛金と御初穂料について

いよいよ、秋季例大祭が近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸経費を賄う運営資金として

役立させて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちの形に表わす意味のものです。(直接、御神前にお供えします。)

古い会員の方々には今更改めて申し上げる迄もない事ですが、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛を願ってより三十年以上経過しております、新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがわかりにならない方も多分おられるのではないかと思いますので)その趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

「大國主大神様のご神像」建立募金のお願い

八月に、ご案内申し上げました通り、この度、布教活動の一環と致しまして、公道に面して「大國主大神様の御神像」と、玄関左右に「狛犬」を建立させて頂く事となりました。尚、詳細は、左記の通りでございます。

総工費 約一、五〇〇万円也

募金額 一口 一万円以上お願いします。

期間 平成二十年十二月末日まで

奉納 振込用紙又は社務所でお願致します。

口座 ゆうちょ銀行 ○二九〇一七―三三八二 名義 宗教法人 出雲心友教会

設計 (株) 第二設計連合

施工 (株) 北島工務店

完成予定日 平成二十一年四月二十六日

九月二十九日現在、百二十口、七百五十万円のご浄財を、信者の皆様方より、ご協力頂いております。誠に有難うございます。御礼に合わせて報告し、引き続き「大國主大神様の御神像建立」を祝寿頂きますことをお願い申し上げます。



関西支部員 高橋 満様 イメージ構成

ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。

うらば

生 庵

新宿区神楽坂1-10
TEL 03(3260)2715

日立チェーンストール
ソニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

榊原電機株式会社

中野区沼袋1-2-12
TEL 03-3387-6351(代)

KANEDA
Co・advance

油のこなら何でもご相談下さい。
食用油脂・食品・調味料
石油製品・化学製品

カナダ株式会社

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号
〒111 TEL.03-3861-1311(代)
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡
http://www.abura-ya.com/
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

人間ドック

疾病の早期発見・早期治療から予防
そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

資料無料送呈

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅 史
東京都文京区西片1-15-10
TEL.03-3816-5840

ボリューム満点 **“おいしいラーメンの店”**

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

らーめんはうす

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ

宮川食鳥鶏卵株式会社

東京都中央区築地1-4-7
電話 03(3541)0164・0177・0370
FAX 03(3541)0164

御供養について

秋季祖霊大祭も多くの方々が参列され、無事お仕え申し上げました。

この機会に、もう一度、御供養について考えてみたいと思います。

私たちがお祀りさせて頂いている御守護神は、言うまでもなく大国主大神様であります。御神徳は数多くあり、別の名前でお祀りされている神社も色々あります。

しかし、意外と知られていない御神徳にあの世(幽世)を司どられている神様であるという『現実』があります。

つまり私たちの御守護神である大国主大神は、幽顕(ゆうけん)一体の神(この世の事もあの世の事も司どられている神)であり、神々の司でいらっしゃるという事です。

この事を思い出して頂くと、これからの話が良くわかると思います。

人間は、肉体的なその死をもってすべてが終わるわけではありません。分霊としての霊魂は、死後五十日

は地上にとどまりますが、以後、生きざまによって行く場所が違います。そして最後には、生き残った子孫の御供養によって神の列へ行く事ができるのです。

つまり、御供養が充分であれば神の列へ入る事ができ(成仏でき)そこから祖霊として私たち子孫を三代守護して下さいます。

それでは、『霊のさわり』についてはどうでしょう。大国様から会長先生への御霊示によれば「幽世は顕世の鏡。顕世のことは幽世のこと。人間死んで楽になれ

ると思うと大間違い。ただ自分で業を果たし徳を積むことができなくなるだけ」とのことです。

他の新興宗教などでは、霊の存在を利用して「あなたの家で病人が絶えないのは先祖がたたっているからです」と言ったりして法外

なお金を請求して入信させるようですが、考えてみるまでもなく、そんなおかしな話はありません。

係のもつれ、借金地獄などの悪い事の全てを先祖や神のたたりのせいにする事柄が大きな間違いです。

なぜなら、神は私たちの心の親ですし、先祖は肉体的に考えてみて下さい。もちろん、病気や何かのトラブルで悩んでいる子孫がいたとしたら、一日も早く良くな

ってほしい、一刻も早くそうした悩みから脱してほしいと願うのが親心であって

たたるというのは、全く筋が違ふというのをおわかりになれると思います。

確かに、先祖霊から発せられるサインというものはあります。それが俗にいう『さわり』というもので、決して『たたっている』わけではありません。

あくまで供養してほしいというサインなのです。たとえば、父親が女狂いをして母親が苦しみ、自分

もいやな思いをしたとすれば、誰でも自分はそういう事はしたくないと思うでしょう。ところが、その父親

いと、自分もまた同じ事をさせられてしまうのです。それはなぜかと言うと、

現世に対して強い執念や妄念を持つている霊というのは、幽世の大神である大国主大神のおぼしめしを受け

られず、霊界の低いところで、いわば『待機』の状態におかれてしまっているか

らです。そして、その間中現世に執念や妄念の霊波を送り続けているのです。これが霊のサインとなるわけ

です。先程も述べましたが、肉体を失って霊となつてしまいますと、自力で業を果たし徳を積むことが出

きません。ですから私たちが、霊にかわって業を果たさせて頂く、これが御供養

ということになります。つまり、日々の供養の中で、私たちが幽世の大神である

大国主大神の霊波を頂き、それを霊界で迷っている先祖の霊に送り返してやる事によって、亡くなった

人の霊は清まって、現世に対する執念や妄念はなくなるのです。それは最終的に

神の列(ついで)に上げて頂ける事を意味し、私たちにサインを

送ることもやめるようになります。これが、因縁切りなのです。

先祖供養とは、有名な神主や住職にお祓いしてもら

ったり、お経をあげてもらったりして済む問題ではありません。もちろん節目節目には、それらも必要でしょう。しかし、日々の御供養

は残された子孫が真心でさせて頂くのが本来の姿なのです。この事は、自分に置きかえて考えてみれば、すぐにわかると思います。

原稿募集中

行事に参列された感想文 不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、どんな小さな事でも結構です。皆様からのお便りを心よりお待ちしております。

編集部 佐藤

末広会コーナー

●各種贈答品承ります。 謝恩特価にて全国宅配無料 産地直送品を始め約800点。その他、各種贈答品承ります。 多少に拘らずお気軽にご用命下さい。(一個でも注文OK) ●多良間島産の黒糖 販売開始 さとうきびから作られた本物の黒糖です。是非、お求め下さい。 ●宮城県産、キヌヒカリを御奉納 米として承っております。 また、ご自宅用としても、名水の逸品のキヌヒカリをお召し上がりください。 発送も致しております。 ●新製品続々登場 ※詳しくは、お店にて。 ●他にも多数商品がございます

正一位中子稲荷 いなり茶屋

～法事会席3,500円より承っております～

水曜日定休

営業時間 午前11時～午後3時
午後6時～午後10時

群馬県北群馬郡伊香保町509-3
天田 信良・典子

TEL.0279-72-4465

広告募集中

●年間三万円より
●内容詳細は
●電話にて
●お気軽に!
●四四(九七六)二八八二
佐藤まで

平成20年度神迎祭日程

日程：平成20年11月7日(金)～11月8日(土)1泊2日 会費：82,000円 含まれるもの(お初穂料・往復交通費・宿泊費・昼食費等一切)

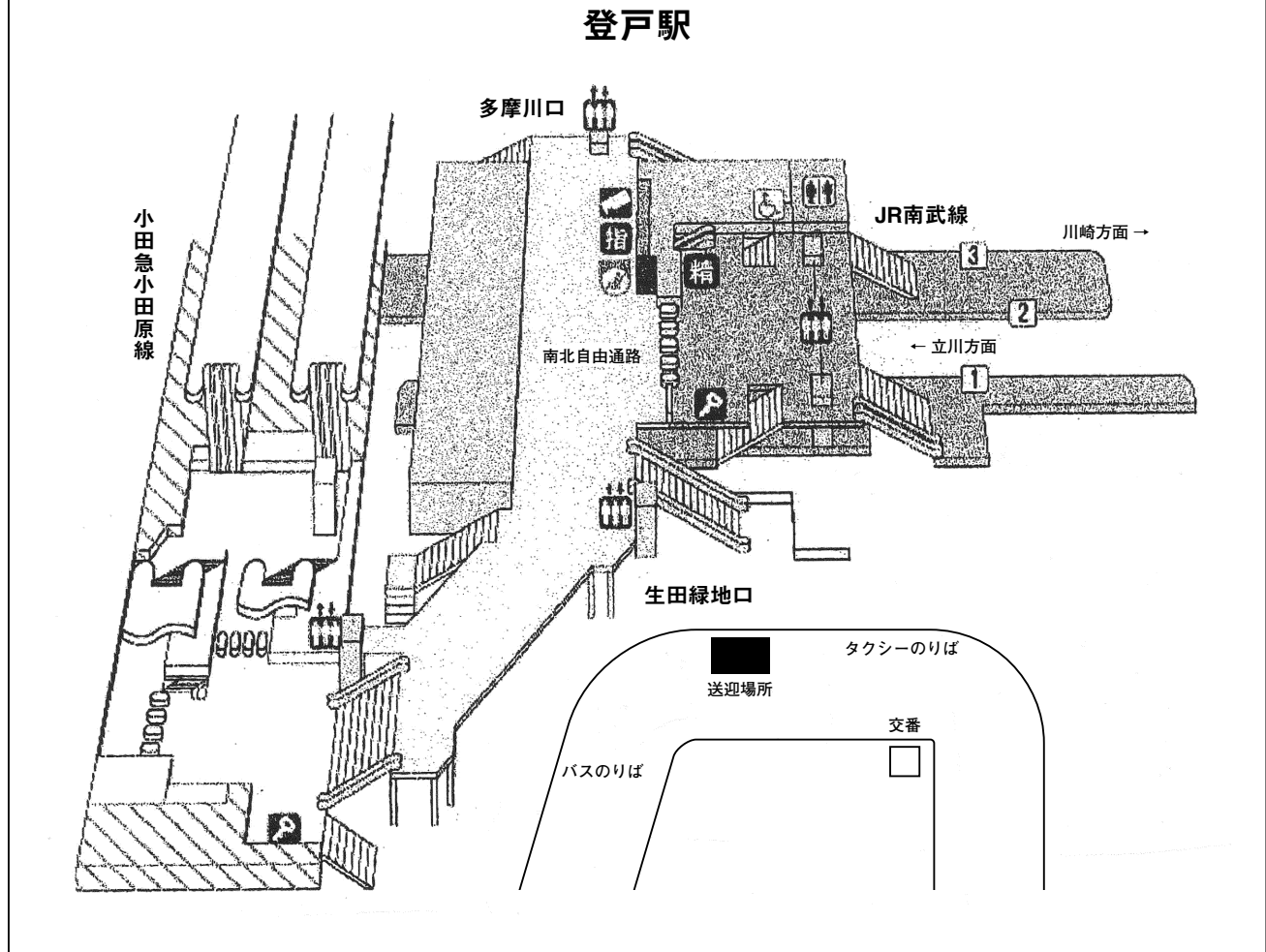
	月日(曜)	行程	宿泊地
1	11/7 (金)	<p>●ご集合時間 10:00 羽田空港第1ターミナル 2階出発ロビー</p> <p>11:05 JAL1665 12:30 タクシーにて移動 13:20 羽田空港 出雲空港 竹野屋</p>	<p>出雲大社 「竹野屋」 (0853) 53-3131</p>
2	11/08 (土)	<p>8:50 9:00 10:20 12:30 13:10頃 竹野屋 古代出雲歴史博物館 日本海(ご昼食)</p> <p>※貸切バスにて移動</p> <p>13:30 14:10 14:45 15:40 ANA818 17:00 境港水産物直売センター 米子空港 羽田空港</p>	

航空会社のダイヤ改正、天候・道路事情等により、行程の時刻・内容が変更になることがあります。

◎出雲心友教会 川崎市多摩区東生田4-13-17 TEL:044-976-0708

送迎駅の変更について

今年から、送迎場所が、向ヶ丘遊園駅より登戸駅に変わりましたのでご注意ください。
詳細は、下記の通りです。



御遷座祭について

引越しをされたら、すみやかに心友会へ新しい住所をお知らせして頂くのはもちろんですが、荷物整理をされて、ある程度家の中がおちつ

いたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。その際、用意する物は、御初穂、御神体(大国様)、御神饌(鯛二匹、野菜七種類、赤飯)です。(御神饌は、未広

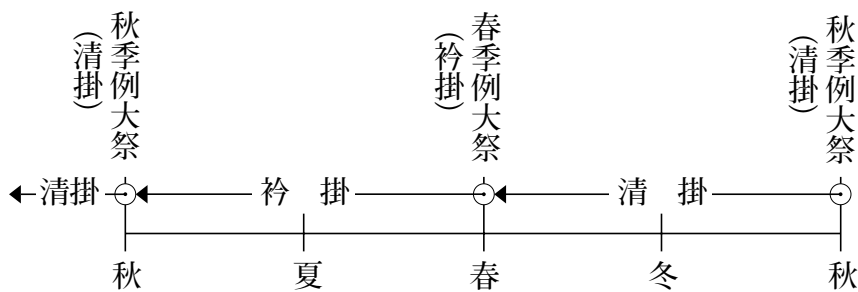
会でも用意出来ます。御希望の方はお申し込み下さい。あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

清掛と衾掛について

清掛と衾掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらつしやいますので、確認させて頂きます。詳細は、左記の通りです。

☆秋季例大祭当日より翌年の春季例大祭の前日まで
清掛の着用(冬季)

☆春季例大祭当日より同年の秋季例大祭の前日まで
衾掛の着用(夏季)



十月〜十二月の行事予定

十月

四日(土) みたまま祭

五日(日) 年祭

十二日(日) 総代会

十九日(日) 秋季例大祭

二十六日(日) 閉扉祭

十一月

四日(火) みたまま祭

五日(水) みたまま祭

七日(金) 神迎祭

八日(土) 神迎祭

九日(日) 年祭

九日(日) 総代会

十三日(木) 七五三詣

十二月

四日(木) みたまま祭

五日(金) みたまま祭

七日(日) 年祭

七日(日) 総代会

十八日(木) 合同慰霊祭

二十八日(日) 餅つき

二十八日(日) 大祓祭

三十日(火) おたきあげ

三十一日(水) 除夜祭

七五三詣りについて

七五三詣りは、十一月十三日(木)の予定ですが、三日(月)にもお受け致します。御参列希望の方々は電話にてお申込み下さい。

十月二十六日(日)

秋季例大祭

正午

春と秋の年二回行われる最も大きな御祭です。正面の御扉が開き、大神様からの波長を直接お受けになれますので、万障お繰り合わせの上、是非おまいり下さい。尚、御祭終了後には、各支部の有志によります模擬

十月二十六日(日)

閉扉祭

午後二時

例大祭で開扉した御扉を感謝の念を込めてお閉めする御祭です。この閉扉祭をもって秋季例大祭が無事終了ということになります。是非ご参列下さいませ。

みたまま祭(祖霊社)

十一月四日(火)・五日(水) 十二日(日)・十五日(金)

十時・十一時・一時半・二時半・三時半にお仕えさせて頂きます。各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせて頂きますので、日程

店が出ます。

また、バザーも行ないますので、ご自宅に眠っているもので、皆様に喜んで頂ける物がございましたら、直接お持ち下さるか、出雲心友教会までお送り下さいませ。クリーニング済でない衣類は、ご遠慮下さい。(必ずバザー用品と明記の上、十月十五日必着でお願い申し上げます。)

みたまま祭だより

九月

染野家 片寄家 藤森家 伊坂家 天野家 本橋家 上野家 加藤家 熊野家 大久保家 篠原家 松山家 高木家 以上の家々の御供養を、させて頂きました。

をご確認の上、お早めにお申し込み下さい。また、お申し込みの方が多数いらっしゃるの月の方や三柱(三人)以上の御供養を希望される方は、日程を別におとり致しますので、社務所までお申し込み下さいませ。

十一月九日(日)・十二月七日(日)

年祭(感謝祭)

正午

その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。月並祭と同様、この年祭も自分の御利益ではなく、純粹に感謝の気持ちを大神様に御奉告申し上げる機会でもあります。

玉串拝礼について

昨年の春季例大祭より、原点に立ち返り、一人一人

神迎祭

旧暦の十月十日(今年は十一月七日)の夜、出雲の稲佐の浜に於て、厳肅に執り行われる御祭です。参拝ご希望の方はお早めに社務所までお申し込み下さいませ。

尚、代参(お一人様三千円以上)も受け付けておりますので、参拝出来ない方は、是非お申し込み下さいませ。 ※八日(土)の御伺いはございません

ハガキでご案内させて頂

きますので、必ず出欠のお電話を下さいませ。また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方も同様に直会(昼食)の都合がございますので、人数をご連絡下さいませ。直会までが御祭です。尚、御神体(大国様)と清掛をお忘れなくお持ち下さい。

読書会について

毎月八日、年後一時の月並祭に引き続き、会長先生のご著書『神のこころ 霊のめぐみ』を教材に読書会を開催する事となりました

編集後記

☆秋季祖霊大祭は、天候に恵まれ、多くの方々が、御先祖様の御供養に参列されました。 ☆みたま様も、さぞかしお

御伺いの予約について

☆3の日 (3日・13日・23日) 9:30~11:30 (午前の部) 13:00~15:30 (午後の部) ☆8の日 (8日・18日・28日) 9:30~11:30 (午前の部のみ) 午後1時より月並祭 (時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。 044-976-0708

名様ずつ(基本的に) 拝礼して頂きますので、左右の方とお気持ちを合わせて、御拝礼お願い致します。

ので、是非ご参加下さいませ。(本は持参の事) 尚、『神のこころ 霊のめぐみ』を特価千円で、末広会にて販売中です。 この機会に是非お求め下さいませ。(十一月は休み)

喜びの事と存じます。 本当にようこそのおまわりでございました。 ☆さて、今月は秋季例大祭です。大神様の波長を、直接頂けますので、是非おまいり下さい。